



あけましておめでとうございます

今年は十二支では子(ねずみ)年です。子の本来の読みは「し」で、「増える」を意味する「孳」で、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表しているとされ、後に覚え易くするために動物の鼠が割り当てられたとのことです。

鼠を割り当てた理由として、以下のような話が伝わっています。

神が十二支の動物を決める際、家の門の前に来た順番に決めることにした。牛は動きが遅いからと真っ先に出かけ、一番に門の前についた。しかし、門が開けられる時、牛の頭の上に乗っていた鼠が牛の前に飛び出たので、鼠が一番になったという。なお、猫も十二支に入れてもらおうと準備をしていたが、鼠が集合の日をわざと間違えて教えたので十二支に入ることができなかった。それで今でも猫は鼠を追いかけ回すのだという。 ウィキペディアより

おもしろいですね。

さて、教育界では、新しい学習指導要領の全面实施をする年を迎えました。道徳の教科化や英語の小学校導入、プログラミング学習などが注目されていますが、各教科ともに変更される内容も多く、学校行事も含めて教育課程全体を見直しています。明治小学校では、こうした動きを視野に入れつつ、現行の学習指導要領にある目標と内容をしっかり踏まえて指導することも大切であると考えています。まずは、目の前にいる子供一人一人をじっくりと見つめて実情を把握し、「思いやりのある子 進んで学ぶ子 たくましい子」の育成に向け、できることを少しずつ確実に指導したいと考えます。今年もいろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、3学期がスタートしました。わずか54日間(6年生は52日)のとても短い学期です。でも、進級や進学に向けた準備を整えなければならない重要な学期です。生活面であれば、まずは、規則正しい生活リズムを確立することです。このことなくしては、「思いやりのある子 進んで学ぶ子 たくましい子」の育成は実現できません。その上で、あいさつやトイレの使い方などについても、より手本となる行動ができるようにしたいです。学習面であれば、現在の学年の学習内容を確実に身に付けることが大切です。苦手な教科や不得意な内容は忌避しがちですが、そこにこそ力を注ぐべきでしょう。分からないところは先生や友達に訊いて、解決していきましょう。インフルエンザや交通事故などに気を付け、一日一日を満足感と充実感をもって終われる日にしていきましょう。



職員室からの赤城山(1/8)

書き初め

1月8日(水)、3年生が体育館で書き初めをしました。毛筆による初めての書き初めです。広げた新聞紙の上で下敷きを敷き、条幅紙をセットすると準備完了。体育館全面に条幅紙が並ぶ壮大な景観の中、題字である「友だち」をそれぞれの子供が書いていました。みんな真剣です。筆に墨をたっぷり含ませて、静かに、一人一人が「友だち」を書き始めます。お手本を見ながら、一画一画、心を込めて書いていきます。おしゃべりする児童は誰もいません。

4年生は「美しい心」、5年生は「平和な国」6年生は「夢の実現」です。1年生と2年生は書写の教科書にある「お正月にしたこと」を、それぞれ硬筆(鉛筆)で書いています。

書き初めは、年が明けて初めて毛筆で詩歌を書く、もともと宮中で行われていた儀式でした。それが江戸時代以降、庶民にも広まりました。「どんど焼き」にその作品を投げ入れ、炎が高く舞い上がるほど字が上達すると言い伝えられているそうです。冬休みに練習した作品が飾ってあったら、どんど焼きに入れてみるのもいいですね。

なお、作品は20日(月)~24日(金)まで、各教室の廊下に展示します。ご都合をつけて、ぜひ足をお運びください。

第44回渋川・北群馬図工美術作品展

1月17日(金)から2月2日(日)まで、渋川・北群馬図工美術作品展が、渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館市民ギャラリー(3F)にて開催されます。この作品展は、渋川・北群馬地域の学校に通う小学生・中学生の図工・美術の学習成果を発表するものです。豊かな発想で、心を込めて制作された数々の作品を、ぜひご覧ください。明治小からは、校内図画作品展の作品が出品されています。開館時間は、午前10時~午後6時(入館は5時30分までで火曜日は休館日)、観覧料は無料です。

明治小ホームページのURLは <http://www.meiji.yoshioka.ed.jp/> です。